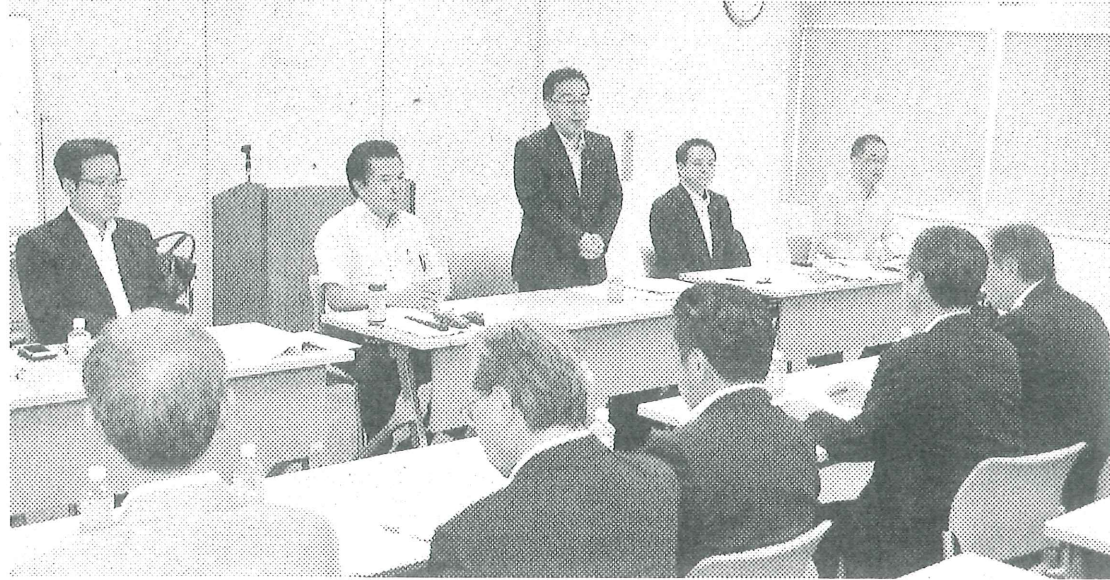


党神奈川
県議団

来年度で 各種団体から要望聞く 現場の声を県政に



神奈川県建設業協会からの要望に先立ち、あいさつする
上田県代表（奥中央）

公明党神奈川県議団（小野寺慎一郎団長）は、県の2017年度予算編成などに現場の声を反映させるため、7月26日から28日にかけて、横浜市内で各種団体から要望を聞いた。27日には党県本部代表の上田勇衆

院議員が参加した。この中で、神奈川県建設業協会（小俣務会長）からは、①公共事業予算の増額確保②発注時期の平準化③入札契約制度の改善④県内建設事業者の活用⑤建設人材の確保・育成——などの

要望があった。このほか神奈川県医師会、神奈川県農林水産団体協議会、神奈川県空調衛生工業会など41団体からヒアリングを行った。

上田県代表は「それぞれの要望を受け止め、政策に反映させていきたい」と述べた。